



3年生の多くは、スポーツ少年団の頃から一緒にサッカーをしてきた仲です。2020年春、1年生女子の入部もチームの追い風に、「公式戦一勝」を目標に掲げ、練習を積んできました。

仲間とは昼休みや休日も一緒に過ごすことが多く、話題はもちろんサッカー一色。仲が良いからこそ、練習ではメリハリが大事と考えてきました。部長としてこだわってきたことは、時間厳守と道具を大切に使うことです。礼儀や感謝を目に見えるかたちで示すことが、スポーツマンシップと思い、常に部員に声をかけてきました。

「コロナ自粛」は、サッカーが楽しいという思いが「層強くなってきた矢先の出来事でした。中体連の舞台に立ちたかったので、へこむ気持ちは隠し切れませんでした。しかし、代替大会を2つも計画してもらえたことで、暗い雰囲気が続くことなく、「一勝する」という原点に立ち返ることができました。みんなと楽しくサッカーができることが、幸せなことだと気づき、限られた時間で

インタビュー

部長 小野島陽斗さん



きるメニューを自分たちで立てるようになってきました。

代替大会では「全員でサッカーをする最後だ」と、よい緊張感をもってピッチに立ちました。仲間が点を決めたときの喜びは大きかったです。勝つことはできませんでしたが、これまで一緒にプレーしてきた仲間、監督、保護者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

自分を成長させ、大切な仲間と出会わせてくれたサッカーは、かけがえのない存在です。高校へ進学後、この仲間と対戦できる日が待ち遠しいです。

▶ 本巣中学校 サッカー部

# 一勝懸命 全員サッカー

本巣中学校サッカー部は3年生が10人、1年生1人の少数精鋭。しかし、部員不足は避けられず、2020年度3年生の引退と同時に、一旦休部が決定しています。「公式戦一勝」を目標に掲げ、挑んだイレブンの絆とは一。

